

公益財団法人大阪ユースホステル協会

2022年度 事業計画

## 2022年度（令和4年度）事業計画書

公益財団法人大阪ユースホステル協会では、アフターコロナを見据え感染予防対策に十分な配慮をした上で、「青少年の健全育成」に2022年度も積極的に取り組んでまいります。そのために、社会環境や教育環境の変化に柔軟に対応し、社会貢献を意識して、施設の特性を活かした事業や防災・減災の観点を加えた教育的価値を持ったプログラム実施していきます。そして、長居ユースホステルを加えた4施設において、旅の楽しさ、人と自然とのふれあいや野外活動での発見、地域の交流などの促進をするように工夫し、ホームページやチラシだけでなく、全国のユースホステルや各種関係団体と連携し、SNSを活用した広報も加えて幅広く発信します。また、施設の安全な整備や接客対応の向上などを行い、より利用者に喜ばれるサービスを提供いたします。

### 基本方針

#### 1. 青少年健全育成への取り組み

長居ユースホステルを加えた4拠点において、各種主催事業や青少年事業を通じて、ユースホステル運動の活性化と青少年の健全育成に取り組めます。また、近畿ブロックユースホステル協議会の一員として日本ユースホステル協会と連携して、青少年対象の事業の共同企画、広報活動の強化に取り組めます。

#### 2. 利用者視点に立つ施設の運営

世界各国からの旅行者が多くは見込めない中、青少年団体、学校団体のための宿泊施設として、また合宿研修等の教育的な場として、直営、指定管理の各施設を運営します。「更なる利用促進」「利用者満足度の向上」「施設の健全な維持管理」を基本方針として、コロナ禍で行ってきた施設の特性を活かしたプランに更に磨きをかけて、集客増に取り組めます。また国内の新規利用団体の開拓のために、4施設の特徴、特性を掲載した合同パンフレットを、協会として総合的・広域的に旅行代理店や関連団体に向けて広報および営業活動を実施します。

#### 3. 各種主催事業の実施

昨年度と同様に子どもや家族を対象とし、体験活動を通じて子どもの成長や家族の絆を深めることを促します。2年間中止となった、日本ユースホステル協会と連携した「旅をする機会に恵まれない子どもたちに旅を贈ろう」という企画も今年度は再開を計画しています。また、子どもだけでなく、コロナ禍により外出する機会に恵まれなかった大人のための事業も積極的に実施していきます。

# 事業計画

## 1, ユースホステルの普及・広報

ユースホステルおよび青少年施設の管理運営を行い、国内外の青少年および青少年を取り巻く幅広い年齢層の方々の施設利用を通じて青少年の健全育成を図ります。会員の維持と新規会員の獲得、ユースホステルを知らない層への積極的なPRを行い、ユースホステル運動の発展に努めます。

- ・日本ユースホステル協会や近畿ブロックユースホステル協議会と協働し、コロナ禍収束後の回復を軌道に乗せる
- ・会員の獲得（デジタル会員証、年齢層に応じた会費を新たに設定し実質値下げとなった「終身パス」、適用範囲が拡大された「家族パス」などを積極的に広報する）
- ・2021年に運営を開始した大阪市立長居ユースホステルを含め、当協会が運営する4施設の一体的な営業・広報
- ・SNSや各種パブリシティーを有効活用した情報提供や広報
- ・主催事業の参加や団体での利用をきっかけとした、参加者各位に対するユースホステルへの誘客

## 2, ユースホステル運動の事業推進

各施設ともに新型コロナウイルスの感染が落ち着き、利用者数に回復の兆しが見えた途端に感染が再拡大し、多くの予約がキャンセルとなるということが2021年度は繰り返されました。2022年度においても同様の懸念はありますが、臆することなくしっかりと準備を進め、コロナ禍からの回復とさらなる発展に努めます。

### (1) 子ども対象

- ① 主に当協会施設を利用した日帰りイベント
- ② 旅する機会に恵まれない子ども達を対象にしたユースホステル宿泊体験を伴う社会貢献事業（スリープフォーピース）
- ③ 関係団体が実施する子ども事業への協力・出展（子どもカーニバル等）

### (2) ウォーキング事業

- ① 健脚者向け長距離歩行やホステリング事業
  - ・第48回伊勢迄歩講(12月)
  - ・一発チャレンジ100km歩行

- ② 日帰り近郊ウォーキング・ハイキング
- ③ 歩行検定

(3) 会員サービスの事業・国際交流

- ① 旅行相談会(月1回)の開催
- ② 外国人旅行者のためのインフォメーション活動

(4) リーダーと指導者の養成

- ① ボランティアリーダーの委嘱会・合同研修会
- ② ボランティアリーダー募集のための合同説明会
- ③ ボランティア各組織ごとの専門的研修会
- ④ 大学ユースホステルクラブの活動支援

(5) 広報活動

- ① 長居ユースホステルを加えた4施設共同での営業・広報活動
- ② 近畿ブロックユースホステル協議会での共同広報
- ③ モンベルクラブフレンドフェアへのブース出展
- ④ 大阪観光局等が主催する商談会への出席や広報資料の提供
- ⑤ 各種情報掲載サイトへの情報提供

3. 新大阪事業所(大阪市立青少年センター)

文化ゾーンでは、これまで少人数での打ち合わせや会議などを行なっていた利用者がリモートに切り替える傾向が強く、今後も小会議室の需要は伸び悩みが予想されます。そこで、新規利用者の開拓と、付属設備の充実による音楽練習室の利用促進を図ります。

宿泊ゾーンでは、団体利用のニーズは実感しているものの、回復にはどうしても時間が必要なため、日本人の個人や家族・小グループを対象に、使いやすいプランを作成・広報することで旅行需要を喚起します。

レストラン部門では、特に夕方から夜にかけての多人数での利用は見通しが立ちにくい状況です。テラス席の強みを生かし、夕食時間帯に少人数で楽しめるディナーメニューを新たに導入します。このメニューは新大阪ユースホステルの特色ある夕食としても販売します。

(1) 文化ゾーン

- ① アンケートや利用者の声による利用者ニーズの把握
- ② より利用しやすい施設とするため、設備・備品を更新
- ③ インターネット予約の更なる推進

- ④ ユースホステルとの合同利用（併用利用）の強化
- ⑤ 感染に配慮した新規事業の立ち上げ

## （2）宿泊ゾーン(新大阪ユースホステル)

- ① コロナウイルス感染対策を徹底していることをアピール
- ② 学割プランの実施（修学旅行や学校イベントが中止となった世代に、旅行活動を手軽に体験してもらう）
- ③ 学校の長期休暇にあわせて、小中学生向けの宿泊プランを実施
- ④ 夜行バスプラン
- ⑤ SNSの発信回数を増やし露出度を高めるとともに、各種情報を掲載して旅行需要を喚起
- ⑥ 学校団体・スポーツ団体・青少年団体を中心に団体向け営業活動

## （3）レストラン(ココカフェ)

- ① 広報の見直しと強化
  - ・WEBサイトのデザイン変更、WEBからの予約の強化
  - ・SNSを有効に使った利用促進
- ② 各種パーティー、公演・研修・練習後の打ち上げ利用、結婚式の2次会等の獲得
- ③ ランチの魅力向上  
ランチメニューの見直しと季節ごとのランチフェアの開催
- ④ デザートの販売促進  
ランチタイムのメニューにデザートメニューを追加  
喫茶タイムのメニューに季節のデザートを追加
- ⑤ 会議室／ホールの利用者の利用促進  
弁当／軽食等のデリバリーメニューの充実
- ⑥ ヴィーガン、ベジタリアン、宗教対応のメニューの提供  
（事前打合せにより要望を正しく把握し提供）
- ⑦ ライブ／セミナー等のイベント用パックプランの新規導入
- ⑧ テラス席を活用したディナーメニューの提供（4～10月）

## （4）事業の企画と実施

- ① 青少年育成事業
  - ・ここぷらキッズイベント 毎月1回
  - ・KIDS DANCE 初級・中級コース
  - ・七夕まつり(笹と短冊の設置) 7月
  - ・夏休み 親子で楽しむ工作教室 8月
  - ・高校生チャレンジアワード  
予選・決勝の2回実施 11月、2月

- ・ KOKO秋フェスティバル 10月
- ・ サンクスギビングフェスタ  
(練習利用者対象の発表会) 3月
- ② 自主事業
  - ・ 童謡喫茶 毎月1回
  - ・ カルチャー教室  
(ヨガ教室、大人のためのピアノ教室など) 年間各3コース
  - ・ KOKO de CONCERT 年4回
- ③ 宿泊者対象
  - ・ ロビーコンサート 毎月2~3回  
クロマチックハーモニカ、ゴスペル、尺八、篠笛等
  - ・ 日本文化体験 毎月1回  
折り紙、書道、浴衣着付、コスプレ、茶道等
  - ・ 季節のイベント 随時  
七夕、淀川花火、ハロウィン、クリスマス、年越しイベント、節分等
  - ・ その他(似顔絵等)
- ④ ココカフェイベント事業
  - ・ フォークソングナイト 毎月1回
  - ・ ココカフェライブ 状況を見ながら再開

#### (5) 利用獲得目標

	2022年目標	2021年見込	2019実績
貸室(文化ゾーン)	121,000人	84,780人	231,701人
利用率	50%	38%	
宿泊(新大阪ユースホテル)	14,000人	2,000人	16,623人
ベッド稼働率	30%	4%	
客室稼働率	38%	12%	
レストラン	10,000人	3,000人	10,266人
(ココカフェ) ランチ			
パーティー	30組 1,500人	1組 64人	2,975人
ライブ・イベント	12組 240人		294人

#### 4. 羽衣事業所(大阪国際ユースホテル・羽衣青少年センター)

利用を手控えていた方々に、感染防止対策の徹底を改めてアピールし、過去利用団体への利用の働きかけを行うとともに、安心安全に考慮した宿泊プランを構築し、新規利用団体の獲得を行います。

また近隣施設やボランティアと協働し、普段できない体験や世代間交流を取り入れ、当施設だからこそできるプログラムの提供を行います。

事業では、大人向けの生涯スポーツ事業の新規スタート、持続可能な開発目標（SDGs）達成につながる内容の導入、社会貢献につながる事業の展開に努めます。人気の高い食事を伴う事業は感染予防対策により配慮した内容にリニューアルします。

#### （１）利用促進活動

- ① 外国人技能実習生の合同研修場所としての営業活動の実施
- ② 学校やインバウンドへ定期的な誘致営業の継続
- ③ 過去利用団体の再利用に向けた営業活動の継続
- ④ 災害教育にいかせる食材メニューの再検討と販売促進
- ⑤ 独自のキャンペーンを取り入れたイベントの実施
- ⑥ SNSを活用した広報活動の継続

#### （２）施設の管理・運営

- ① 排水設備の高圧洗浄清掃
- ② 施設照明のLED化の推進
- ③ 宿泊棟の洗面台の排水管交換
- ④ フロン排出抑制法による点検実施
- ⑤ SNSやホームページの充実
- ⑥ 研修棟の空調設備の新規更新
- ⑦ ボイラー室配管の修繕

#### （３）地域・人との連携

- ① 公園を軸とした近隣施設との共同イベントの実施
- ② 世代間交流もかねた気軽に参加できるイベントの実施
- ③ 地域の子どもやファミリーを対象としたイベントの実施
- ④ 新規ボランティアの募集と育成
- ⑤ 近隣大学と連携した事業の実施
- ⑥ 高石市教育委員会の協力を得て青少年育成会等に広報活動

#### （４）エコ活動の推進

- ① 節電・節水等をオリエンテーションやポスター掲示等で啓発
- ② 炊さん場一部照明に太陽光発電を活用
- ③ 食材の廃棄ロス減少への取組みの継続
- ④ ペーパーレス化の促進

(5) 事業の企画と実施

- ① こども対象
  - ・はごろもキッズデイ 8回
  - ・キッズクッキング 3回×2コース 10～3月
  - ・デイキャンプ 3月
- ② 家族対象
  - ・アウトドアクッキング 6・10・3月
  - ・災害学習を取り入れた親子事業 7月
  - ・ファミリーキャンプ 9月以降に2回程度
- ③ 成人対象
  - ・教室事業  
(ヨガ・ピラティス・太極拳等) 23教室
  - ・童謡喫茶 10回(8・3月除く)
  - ・寄席 6・10月
  - ・ノルディックウォーキングツアー 6・11月
- ④ 地域と連携した施設開放の事業
  - ・友×遊フェスティバル 11月
- ⑤ 宿泊者を対象とした事業
  - ・大晦日・元旦の宿泊イベント 12・1月
- ⑥ 食堂を利用したイベント
  - ・ボジョレーヌーボーパーティー 11月
  - ・日本酒イベント 2月

(6) 利用獲得目標

	2022年目標	2021年見込	2019実績
羽衣青少年センター 稼働率	77,000人 21%	45,000人 12%	118,122人
大阪国際ユースホテル ベッド稼働率 客室稼働率	12,800人 21% 18%	5,200人 8% 9%	19,860人

5. 大阪府立少年自然の家

今年度の新たな取り組みとしては、昨年好評であった「防災食体験」の専門性をさらに深め、学校等でもニーズが高まっている「防災教育プログラム」の提供を目指します。また、社会教育施設として学校団体や行政などへの講師派遣などを推進するとともに、新たなプログラム開発やスタッフのスキルアップにも取り組みます。

イベントにおいては、従来の事業に加えて、企業のCSR活動とのコラボ



レーションや近隣施設の資源を活用するなど、繰り返しご参加いただけるよう、多様な事業展開を行います。

(1) 新規利用者層の開拓のための施設整備

- ① アスレチックの増設と有効利用
- ② テントサイトの増設、レンタル用品の拡充
- ③ 浴室の整備、トイレの洋式化を進める

(2) 利用促進活動

- ① 防災教育を取り入れたプログラムの提案
- ② ホームページリニューアルとモバイル版への対応
- ③ 動画共有サービスなどを有効活用し、下見や打ち合わせの簡素化
- ④ SNSによる広報をさらに充実させ、フォロワー獲得を図る
- ⑤ 企業の研修の場としての利用促進やワーケーション利用の導入
- ⑥ 学校や行政への講師派遣など、委託業務の取組

(3) 施設の管理・運営

- ① 屋外における登山道、道標の整備
- ② 食物アレルギーや摂食障がいのある方への対応食の提供
- ③ 施設を快適に利用いただくための改修
- ④ 利用者目線に立った館内外における案内版の設置

(4) 社会教育施設としての取り組み

- ① 学校の授業と連動したプログラム提供
- ② 教員や一般向けに野外活動やレクリエーション講習実施
- ③ 食育の推進と食事内容の充実
- ④ 出前講座の実施
- ⑤ ボランティアリーダーの育成と活動場面の拡大
- ⑥ 障がい者の就労支援と人に優しい施設づくり
- ⑦ 近隣市町村や他の青少年施設との連携

(5) 事業の企画と実施

- ① 子ども対象
  - ・フォレストジュニアクラブ 年間を通じ6回
  - ・こどもワイルドキャンプ 8月
  - ・中高生チャレンジキャンプ 8月
  - ・プログラミングキャンプ 10月
  - ・アドプトフォレスト事業 11月
  - ・キッズキャンプ 5月・10月・3月

- ② 家族対象
  - ・ ゴールデンウィーク宿泊パック 5月
  - ・ シルバーウィーク宿泊パック 9月
  - ・ BBQ ガーデンイベント 隔月 1回程度
  - ・ 親子 de しぜんのようちえん 年間を通じ 4回
  - ・ ファミリーキャンプ 10月
  - ・ たき火を楽しもう 12・1・2月 8回
- ③ 社会体育・指導者養成
  - ・ 教員のための野外活動説明会 4月
  - ・ ツリーイング指導者養成講習会 年間を通じ 2回
  - ・ 野外活動指導者講習会 1月
- ④ 知的障がいのある子どもの支援
  - ・ 乗馬体験と臨床動作法 10月
- ⑤ 災害に備える支援事業
  - ・ 防災キャンプ 9月
- ⑥ 野外活動と他分野の融合
  - ・ コスプレの森 年間を通じ 6回
  - ・ 自然と絵本のコラボレーション 4月
  - ・ えほんのひろば 11月
- ⑦ 大人向けの自然体験活動
  - ・ 女性のためのソロキャンプ 5月・11月
  - ・ おとなのえんそく 5月・8月
  - ・ シルバー生涯学習 DAY 申込みに応じ随時
- ⑧ 地域や市町村等との連携
  - ・ おおさか元気広場 出前講座 申込みに応じ随時
  - ・ 自然の家オープンデー  
(音の葉音楽祭・自然体験プログラム等) 11月
  - ・ インターンシップ(就労体験)推進事業 申込みに応じ随時

(6) 広報・情報発信の取組

- ① 事業参加者へのDMや公共施設等へのチラシの設置など紙媒体による広報
- ② SNSやホームページによる頻繁な情報発信と、検索されやすい方法の導入など有効な運用方法を推進。

(7) 利用者満足度調査

- ① 利用者の「目的の達成」「利用者の満足度」を調査分析し顧客満足度の向上。

- ② 他施設や団体とのネットワークを密にし、優れたノウハウを取り入れサービスを向上。

(8) 利用獲得目標

	2022 年度目標	2021 年度見込	2019 実績
日帰りおよび宿泊利用	70,000人	41,744人	87,621人

< 共同事業体 一般財団法人大阪府青少年活動財団 >

6. 大阪市立長居ユースホステル

指定管理者として2年目の運営となります。サービス・接客・食事等リニューアルされたことを本年も積極的にアピールします。

また、本年度は長居公園の施設が順次リニューアルされ、グランドオープンを迎えます。リニューアルされた様々な施設の有効活用や他分野とのコラボレーション企画を推進し、宿泊とスポーツ・宿泊とエンターテイメントなど、公園全体の強みを生かし様々な企画を発信してまいります。

(1) 利用促進活動

- ① セレッソ大阪（サッカー）及びNTT ドコモレッドハリケーンズ（ラグビー）のホームゲーム観戦と宿泊のセットプランの推進
- ② 「チームラボ」による長居植物園の光のアートをセットにした宿泊プランの創成
- ③ 公園のスポーツ施設（陸上競技場・野球場・テニス・プール・スケートボード場・相撲場）と連携したスポーツ合宿プランの実施
- ④ アスリート食をはじめ、各種アレルギー食など食事の要望への対応
- ⑤ 貸切バス利用団体を積極的に誘致（長居公園駐車場における宿泊者のバス駐車が可能となったため）
- ⑥ 個人・家族の旅行者獲得のための各種企画と広報（夜行バスプラン・SNSによる情報発信・公園でのデジタルスタンプラリーの考案）
- ⑦ 地元対象のイベントの実施（夏休み自由研究合宿・ヤンマースタジアムで実施の東住吉区成人式における着付けなど）

(2) 施設の管理・運営

- ① 施設機器の維持管理や衛生保持を適切に実施するため、スタッフのスキル向上と委託業者の適切な選定を実施
- ② 鳥類の糞害対策（バルコニーの高圧洗浄と防鳥テープの設置）
- ③ 大浴場脱衣所のエアコンの更新
- ④ 集会室のマイクやアンプ、プロジェクター等機材の充実

(3) 地域・人との連携

- ① 自治会清掃に積極的に関わるなど、ユースホステルの存在感をアピールするとともに、近隣の生の声を聴く機会を増やす
- ② 地域の広報誌や生涯学習情報誌の活用、高齢者大学校の教室等の誘致などで、SNSやネットが苦手な世代にも親しみを持って事業に参加してもらう
- ③ コミュニティー施設として、相互にチラシを配架し、双方で旬な情報発信に努める

(4) 事業の企画と実施

- ① こども対象
  - ・キッズダンス教室 毎月 4回
  - ・夏休みの自由研究子どもイベント 8月
  - ・サッカーサマーキャンプ2022 7月
- ② 大人対象
  - ・健康体操ヨガ（木・金コース） 毎月 各4回
  - ・温活ヨガ（金コース2部制） 毎月 各4回  
※夏季期間除く
  - ・卓球（火・金コース） 毎月 各4回
  - ・童謡喫茶長居 年間 10回  
※8・3月除く毎月
- ③ 食堂を利用したイベント
  - ・ボディメイキングランチ 6月
  - ・ハロウィンランチ 10月
  - ・クリスマスランチ 12月
  - ・オートミールランチ 3月

(5) 利用獲得目標

	2022年度目標	2021年度見込み	
宿泊利用人数	7,500人	1,690人	

以上